

企業を活かす人材活用
人材が輝く企業の現場

第12回

株式会社パック・エックス

大切なのは、好きになってもらうこと 採用でも、営業でも、原点はそこにある

新潟・埼玉の両県で14店舗を運営する株式会社エム・アイ・ディジャパン。堀田達哉取締役は同社立ち上げメンバーの一人として、長年にわたり同社の採用に携わっている。「組織の段階により、中途採用の人材に求める要素は変わる」という堀田取締役だが、「いい人材がいればぜひ欲しい」というスタンスは常に変わらないという。

言葉の端々から自身の勤めるエム・アイ・ディジャパン、そして三井慶満代表取締役への愛情が溢れている堀田取締役は、

「採用も、店舗の営業も、原点は『どうすれば相手に好きになってもらえるか』です」と、全ての場面で人と人の繋がりがや相手への思いを大切にし、中途採用の面接でも「前の会社にどれだけ愛情、恩義を感じていたかを重視する」といいます。

中途の人材紹介を行うエージェンツに対しては同様に、

好きになっていただくことで、初めてお店に通っていただけるのだと思います。仕事のお付き合いも同じです。ですから人材紹介でいい人が欲しいと思ったら、まず間に立つエージェンツの方に、自社を好きになってもらうこと。そのためにコミュニケーションをとることが大切だと思います。

お話をありがとうございます。ところで、御社が事業規模を拡大される中で、中途採用を行って良かったと思うことはありますか。

堀田 それはたくさんあります。まず、中途採用で優秀な方に入社していただくために、組織が整備されてきたことです。例えば福利厚生など、当時大手に比べ整備されてい



「パチンコ店でアルバイトを始めるまえから、「地元にすごい人がいる」と三井社長に憧れていた」という堀田取締役。(写真左)

中途を受け入れるため 組織の整備が進んだ

堀田 堀田取締役とは長いお付き合いをさせていただいています。あらためてありがとうございます。



株式会社エム・アイ・ディジャパン
取締役 営業本部長
堀田 達哉(ほった たつや)

1975年上越市生まれ。長岡高専在学中の21歳時、アルバイト先のパチンコ店から、同店の店長ともども三井慶満・現エム・アイ・ディジャパン代表取締役の独立に合流。玉三郎立ち上げの初期メンバーに。30歳で執行役員。改革推進室、社長室、人材開発部などを歴任し2013年4月より現職。

かった部分が少なからずありました。こうした部分における整備が、企業が成長する過程で欠かせなかったと思います。優秀な人材に来ていただくと思えば、まずは自分たちがいい会社にならなければなりません。

また、中途採用で人材を受け入れる過程で、他社の企業文化について聞くことができ、成長過程においては大きかったと思います。

現在はプロパーのポジションを作りたという考え方もあり、ポジションに対する人材不足からの中途採用はありませんが、それでもいい人材がいれば常に欲しいと思っています。いい人材がいる限り、中途採用は続けるつもりです。特に「当社に入れば伸びるのではないか」という人材には魅力を感じます。

「前向き」「素直」が 成功のキーワード

堀田 そんな堀田取締役が中途採用の人材を面接する際、重視している点はどこですか。

堀田 前の会社をなぜ辞めたのかは気にします。正直なところ、後ろ向きな理由で辞め



株式会社パック・エックス
執行役員

窪田 淳二

くぼた じゅんじ

遊技機メーカーの営業職を経て、2005年に(株)パック・エックスに中途入社。以来10年間転職支援、採用コンサルティングに携わる。2013年に執行役員に就任。現在は全国各地のパチンコホール企業に対し、採用支援を行う。

た方には魅力を感じません。転職するには、自分がステツブアップしたくて、その明確な理由が必要。そうでなければ前の会社で頑張った方が自分のためだと思っています。

だから、前の会社を悪く言う人はダメですね。会社というものは、自分たちそのものであるということを理解していません。天に唾するようなものです。前の会社に対する感謝や恩義は絶対に必要です。あとは相手の話に耳を傾け、しっかりとした議論ができる人。「前向き」、「素直」。この2つは転職を成功させる上で必須の素養だと思います。

もちろん、私自身、面接に来られる方に、全力で当社の魅力をプレゼンします。中途採用の人材の受け入れ方も変えました。現在は入社後3ヶ月間、私の下で会議という会議に帯同させ、当社の考え方を共有してもらっています。

その過程でさまざまな現場の社員と繋がりもできます。この3ヶ月は、後の3年に勝ると思います。そこまでして育成したい人材でないと欲しくない、ということでもあります。

窪田 堀田取締役の人に対する思いが伝わってきます。では、最後になりましたが、人材紹介を活用して良かったと思うところを教えてください。

堀田 やはり当社にマッチする人材を選んでいただく部分で専門性を持っていることです。これを自社で行うのは大変だと思います。だからこそ何度も言っていますが、自社が望んでいる人材をしっかりと理解していただくためにもエージェンツの方としっかりとコミュニケーションをとることが必要不可欠だと思います。